

新緑の氷ノ山林道で自然観察ウォーキング

1. 開催概要

平成15年秋から、森林基幹道「瀨川・氷ノ山線」で自然観察ウォーキングを今年も去る5月24・25日に開催いたしました。例年は日帰りでしたが、今年は1泊2日の予定で開催しました。今年の目玉は、横行溪谷の新緑と春に咲く山野草の観察です。

このウォーキングは、都市住民の方々を中心に森林・林業の大切さや林道の役割について理解していただくために、当治山林道協会と兵庫県治山課並びに兵庫県但馬県民局朝来農林振興事務所との共催で、地元養父市のご協力を得て開催しております。

今回も新聞記者発表とあわせて「県民だよりひょうご」で参加者を募集したところ、定員40名のところ140名の応募をいただき抽選でえらばれた方に参加いただきました。

2. 行程

元町の林業会館前を午前8時15分に大型バスで出発、車内で資料配布行程について説明の後、講

師として同行していただいている近藤伸一氏から車内のテレビを使って瀨川・氷ノ山林道周辺の四季の自然のすばらしさや豊富な植物について紹介しました。

養父市の「あゆ公園」でマイクロバスに乗り換え横行溪谷へ入り、ここでバスを降りて1・8km程度新緑の溪谷をウォーキングです、これが今回の目玉になっています。次に残雪の残る瀨川・氷ノ山線に入り「ぶな観察駅」周辺をウォーク、「氷ノ山中央駅」で昼食の後「巨木の谷」周辺をウォークの後「別宮の大カツラ」を観察し鉢伏高原で1泊です。

二日目は、鉢伏高原を出発し、「氷ノ山展望駅」「瀨川山登山」 兎和野高原野外教育センターの「レンゲツツジ群落」「兎和野の大カツラ」を観察し小雨が降り出したため車内で昼食をとって「但馬高原植物園」内を散策しました。

復路は北近畿自動車道の「道の駅まほろば」で休息したのち三宮に午後5時30分に無事到着しました。



横行溪谷の新緑



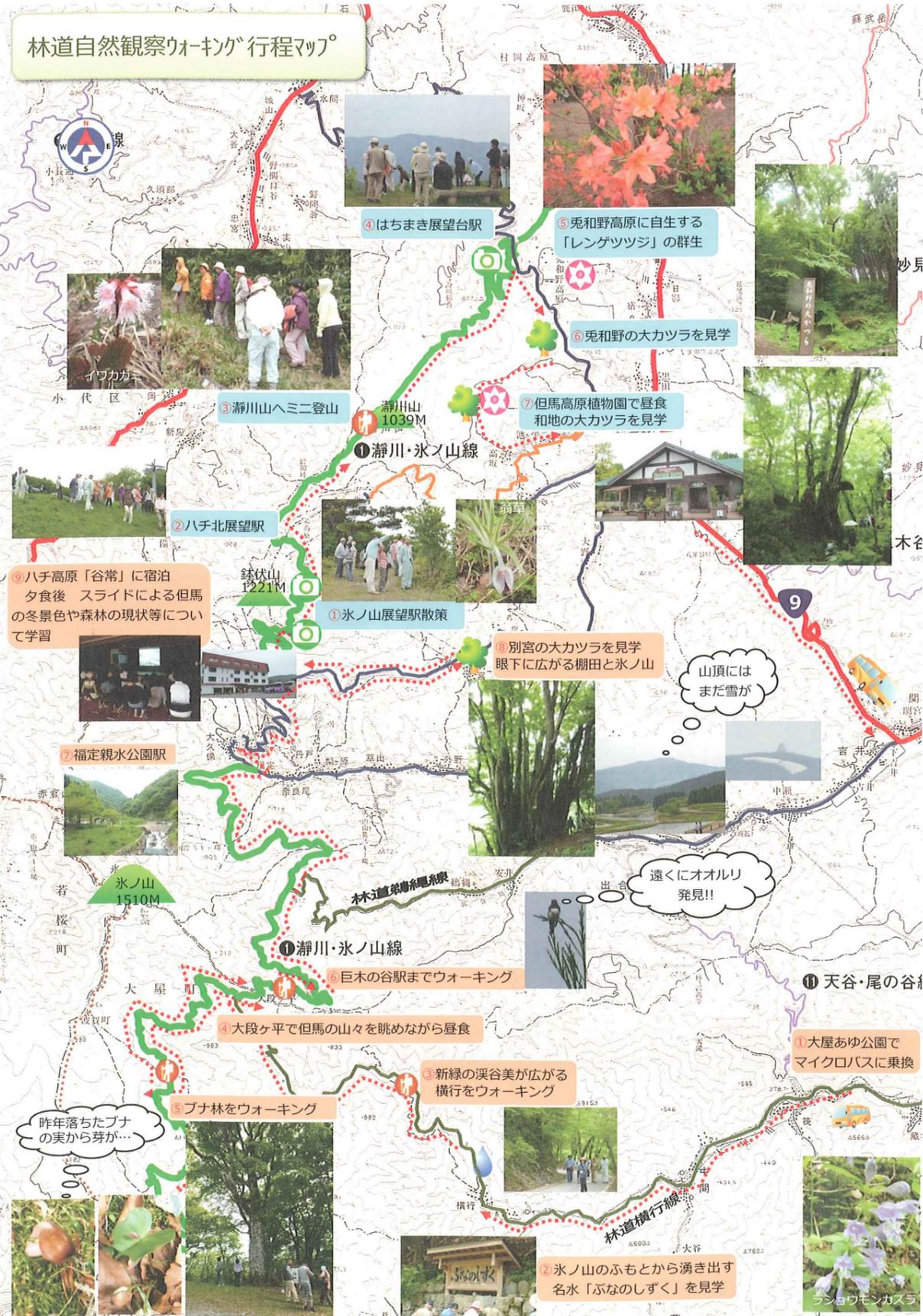
ヒメレンゲ (横行溪谷)



ヘラオオバコ (八子高原)



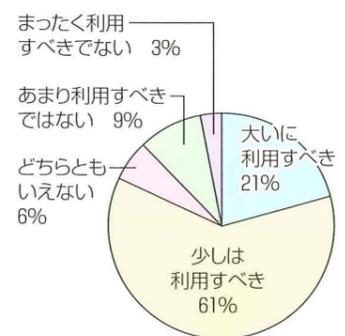
レンゲツツジ (兎和野高原)



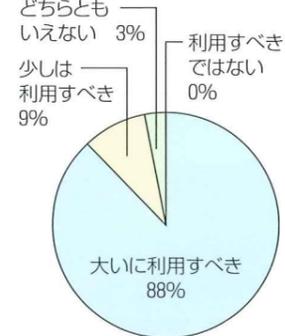
アンケート結果

Q. 林道は、森林の手入れや木材等を運び出すために作られています。他の利用についてどのように思いますか。

①観光として利用



②環境学習として利用



その理由

・自然観察をすることによって、初めて見る動植物の発見はすばらしいから。
 ・山林を守るために、森林や自然について少しは知ることが大切だと思う。
 ・植物を荒らさない、森林火災を起こさない、ごみを持ち帰るためにも自然環境のマナーを守るために学習させるべき。
 ・貴重な自然遺産を身近に知ってもらい、自然との共生を図ってほしい。
 ・林業の妨げにならないよう、自然の大切さを知り、ともに生きることを知る必要があるから。